

浮遊粒子状物質合同調査について

関東地方環境対策推進本部大気環境部会浮遊粒子状物質調査会議

1. 目的

今後の大きな課題である PM2.5 について、特に夏季における二次粒子の高濃度化に焦点をあて、その広域的な濃度レベルを把握するとともに、粒子状成分の濃度とその前駆物質であるガス状物質の濃度を同時観測し、比較検討することによって夏季における広域二次粒子汚染のメカニズム解明に資する。

2. 調査方法

	PM2.5 調査	ガス状物質調査
概要	一般環境調査地点において、PCI サンプラーを用いてサンプリングを行う。	PM2.5 調査とあわせて、4 段フィルターパックにより、サンプリングを行う。
調査項目	PM2.5 濃度、水溶性イオン成分、炭素成分、金属元素成分	ガス成分 (SO ₂ 、HNO ₃ 、NH ₃ 、HC1)、エアロゾル成分 (都県市により任意)

3. 調査期間

平成 20 年 7 月 28 日 (月) ～ 8 月 8 日 (金)

4. 調査地点

一般環境 16 地点 (1 都 9 県 6 市) において調査を実施する。

地点名	PM2.5	ガス状物質	担当自治体	調査地点
平塚	○	—	神奈川県	神奈川県環境科学センター
横浜	○	○	横浜市	横浜市環境科学研究所
川崎	○	○	川崎市	川崎市公害研究所
江東	○	○	東京都	東京都環境科学研究所
さいたま	○	○	さいたま市	さいたま市役所
騎西	○	○	埼玉県	埼玉県環境科学国際センター
千葉	○	—	千葉市	千葉市真砂測定局
市原	○	○	千葉県	市原岩崎西測定局
土浦	○	○	茨城県	茨城県土浦保健所
宇都宮	○	○	栃木県	栃木県保健環境センター
前橋	○	○	群馬県	群馬県衛生環境研究所
長野	○	○	長野県	長野県環境保全研究所
甲府	○	○	山梨県	山梨県衛生公害研究所
静岡	○	—	静岡市	服織小学校測定局
島田	○	○	静岡県	島田市役所測定局
浜松	○	—	浜松市	北部測定局